きらめき　資料4−4

北斗市立大野中学校
研　究　部
第　３　号
２０１８．７．１８

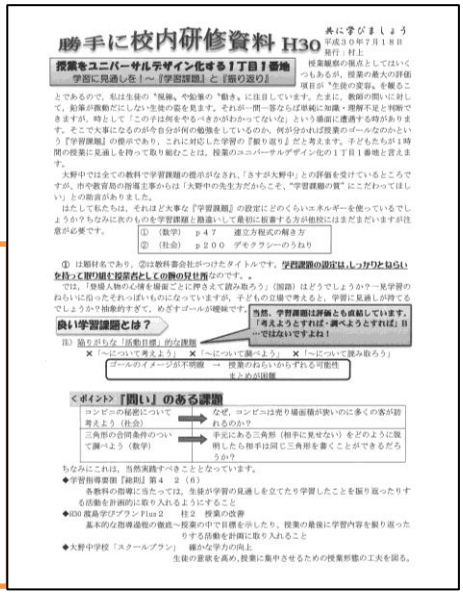
「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
～資質・能力の「三つの柱」の育成を目指して～」

【めあて】単元構想シートを使って授業を組み立てよう。

７月校内研修内容

□チャレンジテスト結果から
□校内研修について
□授業の割り振りについて
□校長先生から

校長先生からも授業改善についてお話をいただきました。⇨


勝手に校内研修資料 H30

授業をユニバーサルデザイン化する１丁目１番地
学習に見通しを！～『学習課題』と『振り返り』

□板書に学習課題・まとめを活用している。

□学習の約束について指導している。
□家庭学習の方法について具体的に指導している。
□グループやペアでの活動形態を取り入れている。
□役割や責任を生徒に意識させたペアやグループ活動を行っている。
□ピアサポートやクラス会議など関わり合う場を意図的に作っている。
□ＩＣＴ機器を効果的に活用している。

●７月の振り返り

＜単元構想シートについて＞

今年から単元構想シートを作成してもらいます。１つの単元を細かく書くことで、見通しをもった授業を行うことが出来ます。

・資質・能力の「三つの柱」の育成を意識する
・教科書の解説や学習指導要領を踏まえて作成する
・新学習指導要領を意識して、３観点で作成する。今までの観点の知識、技能などが『知識・技能』の一つになり

単元の評価規準に基づいて、学習活動に即した評価規準を設定する

1．単元の目標（何ができるようになるか）		
知識・技能 （何を理解しているか，何ができるか）	思考力・判断力・表現力等 （理解していること・できることをどう使うか）	学びに向かう力等 （どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか）
・天平文化の特色を地理的条件や世界の歴史、歴史を構成する諸要素に着目しながら総合的に理解す 的に読み 意義につい	・天平文化の特色や意義を、時代展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、表現する。	・我が国の歴史や文化、他国や他国の文化を尊重しようとする。

の計画

時間	学習内容	【評価の観点】知/思/学 評価規準 《評価方法》	学習課題（◇）と主な学習活動（○）
1	天平文化と大陸	【学】 本単元で追究する学習課題に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 《授業内容の振り返り》	◇天平文化の意義を探ろう ○「天平」という年号のもつ歴史的意義を生徒相互で共有し合うことを通じて、この単元についての理解を深化させていくことを確認する。 主体的な学び　対話的な学び　深い学び
2	国史編纂と『万葉集』	【知】 国史や歌集などの個別の知識を身に付け、東アジアの情勢に着目し、国史や歌集編纂の意義について総合的に理解している。 《授業内容の振り返り》	◇なぜ国史編集が必要だったのかグループで考え発表しよう ○国史や歌集編纂にかかわる個別の知識の習得をし、概念として理解する。 ○国史編纂者やその他の書物の編纂者の気持ちになって、それらが記された理由をグループで考えまとめ、発表する。 主体的な学び　対話的な学び
6	単元のまとめと振り返り	【思】 天平文化の特色と意義について、当時の国際社会と日本のかかわりという視点から、具体例をあげて説明している。 《パフォーマンス評価》	◇天平文化の特色と意義を伝えよう ○これまで学習してきた内容を、パフ てわかりやすく伝える。 主体的な学び　対話的な学び　深い学び

学習活動を充実させるためには、どの授業改善の視点を色濃く行うかをチェックする